

ちょっと気になるデータ解説

60歳代前半層の就労意識

平均寿命の伸びや年金支給開始年齢の引き上げなどにより、とくに60歳代前半の高齢者層の就労問題が注目されて久しい。ここでは、内閣府の「団塊の世代の意識に関する調査」結果を中心に、この世代の就労意識の傾向をみてみたい。

2012年に内閣府が実施した「団塊の世代の意識に関する調査」(以下、「団塊世代調査」) (1) では、「就業形態」および「仕事をしている理由」について、60歳時と調査時現在の二つの時点の状況を聞いている。調査が実施された12年において、回答者(1947～49年生)の年齢は概ね63～65歳に相当し、60歳時とその数年後の変化の傾向がわかる。ここでは主に、調査対象のうち60歳時点で働いていた人(2553人)、現在(調査時点)働いている人(1747人)の集計結果をみる。

就業形態は、60歳時では、「正社員・職員(一般社員)」の割合がもっとも多く28.8%で、以下「パート・アルバイト」が15.9%、「個人事業主」15.1%、「正社員・職員(管理職)」13.8%などとなっている。一方、現在の就業形態は、「パート・アルバイト」がもっとも多く27.6%であり、次に「個人事業主」が21.4%、「嘱託・契約社員」17.7%などとなっている。「正社員・職員(一般社員)」は10.7%、「正社員・職員(管理職)」は3.5%と低く、60歳以降の数年間に、就業形態が正社員からパート・アルバイトや嘱託・契約社員などへと移っている傾向がみられる。

「仕事をしている理由」(3つまでの複数回答)については、60歳時では「生活費を得るため」が73.0%でもっとも多く、次いで「将来に備えて蓄えを増やすため」43.0%、「ローン返済のため」23.0%、「生活費の不足を補うため」21.3%などとなっている。これに対し、現在では、「生活費を得るため」が55.4%、続いて「生活費の不足を補うため」32.6%、「健康維持のため」32.3%、「将来に備えて蓄えを増やすため」29.6%などとなっている。60歳時から現在にかけて変化をみると、「生活費を得るため」の割合が17.6ポイント減少する一方、「生活費の不足を補うため」は11.3ポイント増加しており、生

活費に対する関心は継続して強いことがうかがえる。また、「健康維持のため」が60歳時の12.3%から現在の32.3%へと20ポイント増加しているほか、「生きがいがほしいため」が60歳時の14.4%から現在の22.5%へと8.1ポイント増加するなど、経済的な要素以外の関心が強まる傾向が出ている。

このほか、就労希望年齢について、「団塊世代調査」では現在の意向を調べている(表)。仕事をしている人のうち、「65歳まで」は21.7%にとどまっており、「70歳まで」が29.3%、「75歳まで」が5.3%、「80歳まで」が1.0%、「働けるうちはいつまでも」が33.5%となり、65歳以降も働く意思のある人の割合は合わせて69.1%と高くなっている。参考に調査対象者全体(3517人)の集計をみると、「65歳まで」は16.1%だったのに対し、「70歳まで」が21.3%、「75歳まで」3.7%、「80歳まで」0.8%、「働けるうちはいつまでも」25.1%と、65歳以降も働く意思のある人の割合は合わせて50.9%となり、半数を超えている。

この結果を一般の中高年齢層の意識と比較するため、13年に内閣府が実施した「高齢期に向けた『備え』に関する意識調査」(2) (調査対象35歳～64歳)の集計をみると、60歳以降の収入を伴う仕事についての意向と就労希望年齢は、調査時点で収入のある仕事をしている人(2081人)のうち、「65歳くらいまで」とした人が33.6%でもっとも多くなっている。これに対し、「70歳くらいまで」は23.0%となり、これに「75歳くらいまで」(4.3%)、「76歳以上」(0.2%)、「働けるうちはいつまでも」(26.7%)を合わせると、65歳以降も働く意思のある人の割合は54.2%となっている。このような一般の中高年齢層の結果と比べて、調査時点で仕事をしている団塊世代の就労意欲は高いことがうかがわれ、今後の高齢者層の就労の動向が注目される。

(1) 12年9～10月に実施され、1947～49年に生まれた男女3517人の有効回答を得ている(有効回収率58.6%)。

(2) 13年11～12月に、同年10月時点で35～64歳の男女を対象に実施され、2707人の有効回答を集計している(有効回収率45.1%)。

(調査・解析部主任調査員 吉田和央)

表 就労希望年齢

単位：%

対象者	対象者数	65歳まで	70歳まで	75歳まで	80歳まで	働けるうちはいつまでも	その他	今すぐでも辞めたい	働きたいとは思わない	無回答	
総数	3,517	16.1	21.3	3.7	0.8	25.1	2.7	1.8	20.6	8.0	
		(65歳以降) 50.9									
仕事をしている人	1,747	21.7	29.3	5.3	1.0	33.5	1.7	3.3	1.4	2.9	
		(65歳以降) 69.1									

資料出所：内閣府「団塊の世代の意識に関する調査結果」